

- (1)人工知能：人工知能で社会が如何に変化するか？
- (2)地球温暖化等の地球環境問題：佐賀大学が温室効果ガス計測衛星の検証サイトになっている地球温暖化研究の最前線について簡単に説明します。
- (3)ドローンの動向と農業への利用：新井が行ったドローンの日本における先駆的役割により、九州経済産業局、ドローン技術研究会からの講演依頼がありました。
- (4)衛星データによる防災情報システム：衛星データによる被災状況把握方法、水門開閉を人工知能が行う等の説明をします。
- (5)人工衛星データの実利用(衛星の恵みうれしの茶、もち米(ヒヨクモチ)、さがびより、プレミアム大豆、もち麦(ダイシモチ)、長粒米等の品質推定、収量予測及び 冬季大型珪藻赤潮ブルーム予測)：衛星データで茶葉の品質、収量を推定するもので「衛星の恵みうれしの茶」(JA さがの商標)として販売している
- (6)人間とコンピュータのインターフェース：
<https://www.youtube.com/watch?v=DnAFVAr5KDY> から内容が分かるようになっていきます。実は、視線入力(目でコンピュータを操作するの発明者は新井です。Japan Times, La Spanta, その他国内の新聞に掲載されています
- (7)自治体 DX、企業 DX：デジタル化(ペーパーレス化、ハンコレス化、AI,IoT、RPA)を如何に進めるかについて平明に説明します。
- (8)5G,6G で社会がいかに変化するか？：サガテレビにおいても 5G によるマルチアングルカメラ、選手に取り付けたセンサーデータの地上波での放映等自律走行自動車、シェアリングサービスによる社会変化を説明します。
- (9)ビッグデータ：ビッグデータの収集、活用方法